



校長 藤山 昌生

緊急事態宣言が発令

あきらめ
ねばり
つよき

4月22日に、宝塚市が「まん延防止等重点措置」の対象となり、日々の教育活動において、感染症対策のレベルを上げた矢先、兵庫県に3度目の緊急事態宣言(4月25日～5月11日)が発令されました。学校では集団で教育活動を行っているため、授業や行事でどうしても緊急事態宣言の影響を受けることになります。教職員は、年間行事を決める際にも、教育活動が制限された中で「できない」ことはしょうがないけれども、「何ができるのか」「どうしたらできるのか」と、創意工夫を凝らして、準備をしています。保護者のみなさまには、状況に応じて、変更等もお願いすることになりますが、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

わたしは、土曜の夜にやっている「博士ちゃん」が好きでよくみています。そこでは、すごい知識を持った子どもが先生となって番組が進んでいくのですが、自分のことばに自信をもって、説明をしてくれます。「好きなもの」となったのは、それぞれきっかけがあると思います。それは、保護者からの影響や、学校の先生のちょっとした一言だったかもしれません。以前、ノーベル化学賞を受賞した吉野彰さんも、小学校の先生から勧められて読んだ『ロウソクの科学(ファラデー)』が、研究者の道へ進むきっかけになったとおっしゃっていました。好きなことに没頭できることは素敵なことで、自然に、物事に対する粘り強さややり抜く力を成長させると思います。子どもたちにはそんな時間を大切にに使ってほしいと思います。

毎日の見守りありがとうございます

現在も、登校中や下足室付近での密を避けるため、時間差登校を継続して実施しています。毎日の登下校に際し、子どもたちの安全・安心を確保するために、保護者、地域の多くの方々には、子どもたちの見守り活動でお世話になり、本当に感謝いたします。

登下校中の安全や安心は、保護者、地域の方々のみならず、子どもたち自身が安全や安心に対する意識を高める必要があります。不審者に狙われないために、はっきりと自分の意見が言える子ども、元気な挨拶が自分からできる子どもに育てることも大切なことだと思っています。

子どもたちが自ら判断し行動できる力の伸長や心の成長についても、引き続き見守っていただきますようお願いいたします。